

火曜会通信

発行日：平成13年1月1日

発行：伊丹市文化財ボランティアの会

発行所：伊丹市千僧1丁目1番地

伊丹市教育委員会事務局内

<巻頭言>

『新世紀新年』

中尾 求

火曜会も二世紀目（2001年辛巳歳）を迎える。世紀は百年を一単位とし、干支は六十年で一巡する。各世紀の一年目と辛巳歳の十世紀以降を一覧表にしてみると次のようになる。表にみる如く、辛酉革命説の変革も巷説の節目の異変もなく一年を経過している。

2001年（平成13年・辛巳歳）も平穏で心豊かな一年であることを念じ、火曜会も内的充実と外的発展を続け、自前のホームページを伊丹から発信することを夢見て擱筆します。

新しき年の始めの初春の

今日降る雪のいや重け吉事（大伴家持）

西暦	年号	干支	天皇	首相・将軍等	記事
1901	明治34	辛丑	明治	伊藤博文	八幡製鉄所操業開始
1801	寛政13	辛酉	光格	徳川家斉	辛酉革命による改元一享和（2月5日）
1701	元禄14	辛巳	東山	徳川綱吉	浅野内匠・吉良上野介刃傷事件
1601	慶長6	辛丑	後陽成	一条兼孝	（慶長5）関ヶ原の戦
1501	明応10	辛酉	後柏原	足利義澄	辛酉革命による改元一文亀（2月29日）
1401	応永8	辛巳	後小松	足利義持	足利義満 明に使者派遣
1301	正安3	辛丑	後伏見	北條貞時	後二條践祚（1月21日）
1201	正治3	辛酉	土御門	源 頼家	辛酉革命による改元一建仁（2月13日）
1101	康和3	辛巳	堀河	白河院政	
1001	長保3	辛丑	一條	藤原道長	
0901	昌泰4	辛酉	醍醐	藤原時平	辛酉革命による改元一延喜（7月15日）
					道真大宰権帥に左遷
1941	昭和16	辛巳	昭和	近衛文磨	太平洋戦争勃発（12月8日）
1881	明治14	辛巳	明治	三條実美	国会開設の勅（10月） パナマ運河起工
1821	文政4	辛巳	仁孝	徳川家斉	近畿・東海・山陰大暴風雨（8月）
1761	宝暦11	辛巳	桃園	徳川家治	
1641	寛永18	辛巳	明正	徳川家光	
1581	天正9	辛巳	正親町	足利義昭	（天正10）本能寺の変
1521	永正18	辛巳	後柏原	足利義植	兵革による改元一大永（8月23日）
1461	寛正2	辛巳	後花園	足利義政	寛正の凶作

主な行事予定（2月から4月）

◇ 定例会

☆ 分科会日程は4ページです

2月13日（火）	特別講座	「旧岡田家・石橋家について」	中央公民館
3月13日（火）	年度総括		中央公民館
4月10日（火）	年次総会		中央公民館

少し天気を案じつつ出発した私達会員と有志の方々48名を乗せた観光バスは一路彦根へと向かいました。ガイドさんの軽妙な話術に、車中はすっかり楽しい雰囲気になり、しだいに秋晴れの良い日和になってきました。

彦根のキャッスルホテルの前につくとボランティアガイドの方2名に迎えられ、二班に分かれ彦根城と玄宮園を廻りました。国宝彦根城は、初代藩主井伊直政の嫡子直継と二代藩主直孝により約20年の歳月をかけて築城され、1622年完成。以来、彦根藩井伊家35万石の居城として、今は彦根の象徴として観光の目玉になっています。

いろは松から二の丸佐和口多聞櫓、馬屋、表門、天秤櫓、太鼓門櫓の重要文化財を見て国宝天守閣へ、屋根は丸みを帯びた唐破風、千鳥破風、火灯窓をつけ華やかで牛蒡積み of 石垣の上に三重の天守が聳える名城に魅了されました。

紅葉に映ゆる白亜の天守閣

気高い雄姿にいにしへ思ふ

次は玄宮園へ、玄宮園は旧大名庭園で中国の玄宗皇帝の離宮にならったもので優雅な趣でした。江戸末期、日本を開国に導いた井伊直弼の銅像は、内堀に面した金亀児童公園に立ち、近くに「花の生涯」記念碑もありました。

午後、湖東三山の山麓にある天台宗西明寺へ行き、住職から寺の建造物や仏像についてお話を拝聴させて頂きました。密教の寺院は秘密を重んじる為に本堂の正面を閉ざしている由、本堂と三重塔は国宝で素晴らしく、また境内のもみじと不断桜とのコントラストが楽しめました。

山を背にもみじ彩る境内の

不断桜の風情ひととき

次は三山のまん中の金剛輪寺です。行基菩薩が開山された天台宗寺院で参道に千余のお地蔵さまがまつられ、山内に優しさが満ちているかのようなのでした。住職のお話を拝聴した後、池泉回遊式庭園を観賞しました。

今回の研修旅行は歴史的にも価値が高く多くを学ばせて頂きましたが、もう一度訪れ時間をかけてゆっくり楽しみたいと思いました。



□ 市内史跡めぐりガイドの記録 □

実施日 ガイドコース	グループ名	人数 火曜会メンバー
① 10月18日 稲野公園→御願塚古墳→須佐男神社→西光寺→南野神社→了福寺→柏木古墳	伊丹市老人クラブ連合会	410名 坂根会長他30人
② 11月11日 伊丹郷町(三軒寺・長寿蔵)→旧岡田家→昆陽寺→師直塚	庄内公民館歴史民族同好会	10名 柴田博さん・柴田久さん・福岡さん
③ 11月12日 旧岡田家・旧石橋家	庄内公民館歴史民族同好会	6名 坂根さん・豊田さん

□ 主な活動の記録 □

<学校外活動促進事業>

実施日 ①10月15日	「古代土器をつくろう!」	開催場所 神津福祉センター陶芸室
②10月22日	「おもちゃを作りあそぼう!」	埋蔵文化財口酒井整理事務所
③11月 5日	「古代土器を焼いてみよう!」	埋蔵文化財口酒井整理事務所
参加者 15名		火曜会メンバー 斎藤さん・治井さん他24人

<公民館フェスティバルへの参加>

実施日 11月17日～19日	開催場所 中央公民館
参加内容 (1) 展示と説明 活動内容を説明パネル・作品・写真・ビデオ等で紹介	
(2) ガイドブックの販売	
(3) 公開講座の開催 柳沢森夫さん「富本銭について」・片山美代子さん「伊丹郷町と法蔵寺」	
講座受講者 30名	火曜会メンバー 柴田副会長他16人

<文化財保護法施行記念 旧岡田家・旧石橋家一般公開支援>

実施日 11月3日	来訪者 500～600名	火曜会メンバー 日野さん・治井さん・鍛冶さん
-----------	--------------	------------------------

<市内史跡清掃への参加>

実施日 11月25日	史跡有岡城跡公園・史跡伊丹廃寺跡公園	火曜会メンバー 19人
------------	--------------------	-------------

居を定め ころろ定めて町角の

道祖の神に向きて 坐しいつ

難波寿美

禁ひのむかひ話

□ほうかむり坂□

松本 繁

このお寺までの道は今ではたくさんの家が建っているけど、昔は家は一軒もなく山と田んぼばかりで灯りもなかった。細い田んぼ道だけど、少し坂があって、曲がっているところを「ほうかむり坂」と言っていた。

「ほうかむり」とは手拭いなどで寒さを防ぐ為に頭にかぶることで、その坂を曲がると急に風が強くなるのでその名前がついたんだ。

昔この坂を通っているときつねが出てきて、眉毛を一本一本数えて人を山の中へつれて行ったそう。だから人は皆、眉毛につばをつけてぐちゃぐちゃにしてほうかむりをしてきつねに数えられんようにしたもんだ。

<分科会開催日程>

◇ 第2部会 (街道を歩く)

1月30日(火) 集合 9:50 市バス武庫川センター前
昆陽井取水口→安倉高塚古墳→安倉南遺跡→住吉神社→大蓮寺→安倉下池→姥ヶ茶屋三叉路
→孫左衛門池跡→土地改良碑→市バス西野(解散12:00)

2月27日(火) 集合 9:50 市バス荒牧センター前
安倉上池→「京・大坂ミチ」の道標→安倉上池から安倉下池への水路→安倉下池
→「中山くアノおん道」道標→開拓者顕彰碑→市バス中野北(解散12:00)

3月27日(火) 未定

◇ 第3部会 (いずれの日も集合時間は13:30です)

2月6日(火)	3月6日(火)	4月2日(火)
中央公民館	未定	中央公民館
古文書の研究	古文書の研究	古文書の研究

◇ 第1部会 (村の歴史) (いずれの日も集合時間は9:30です)

1月23日(火)	2月20日(火)	3月20(火)
中央公民館	中央公民館	春分の日のため休会
打ち合せ	打ち合せ	

<リレー随想>

『ペルーを旅して』

平松 信子

以前から南米に行きたいと思っていましたが、日系のフジモリさんが大統領ということで安堵感と親しみが湧き、11月上旬からペルーへ9日間の旅行をしました。

ペルーの主都リマから飛行機で約1時間、アンデスの山々に囲まれた3400mの高地に昔インカ帝国の主都であったクスコがあります。ここは雨が少なくほこりっぽい赤茶けた土、赤茶けた土壁でつくられた家が並んでいます。また、アンデス山脈の奥深くまわりが切り立った山で空中都市と呼ばれるマチュピチュがあります。すべての建物がカミソリの刃一枚も入らないと言われる精巧な石組で造られていることや、じゃがいもや野菜作ったと言われる段々畑まであったのには驚きました。

草や木のない岩山で囲まれた長さ40km、巾20kmで中央にハイウェイの通った砂漠の中に、魚や鳥やさる・コンドル等を描いたナスカの地上絵があり、誰がどうして描いたのか不思議です。

世界一高い3800mの山の上にあるチチカカ湖は、琵琶湖の12倍の広さがあり、透き通った青く美しい空の色を映した素晴らしいところです。湖上にはウロス島と言われる葦の一種で、食料にもなるトトロと呼ばれる草で縦横に編込まれた400近い浮島がありその上で、ウトロ族が生活しています。ペルーは世界遺産に指定されている遺跡が多くてとても興味がありますが、それらを維持して行くのも大変だなと感じました。

いずれの遺跡も日本の富士山級の高地にあるので、初めて高山病を体験しました。今回の経験から少しでも体力のあるうちに、海外の文化財を見学されることをお勧めいたします。

次回は渡邊敬子さんをお願いします。

